

## 平成27年度 一般会計補正予算

# 教育関連予算約4億6千万円を減額

### 教育設備関係予算を大幅に減額補正

本年3月議会にて可決された平成27年度一般会計予算について、国への補助金申請が採択されなかったという理由で教育設備関係予算の一部、約4億6千万円を減額する補正予算案が提出されました。非常に重要な教育予算の減額提案であり、議会としては慎重に審議、議論を重ねました。



### 減額した予算の内訳

- ①小郡中学校大規模改造工事並びに中学校の空調設置事業  
約2億1千4百万円  
(内補助金 約4千5百万円)
- ②幼稚園の空調設置事業  
約2千万円  
(内補助金 約5百50万円)

### ③小郡小学校給食施設の整備事業

約2億2千2百万円  
(内補助金 約3千9百30万円)  
※採択されなかった補助金総額  
約9千万円



### 減額する市の提案理由

本市では既に平成23年度末で小中教育施設の耐震化工事は完了しているのですが、全国には実施されていない建物が約9千棟残っています。そのため耐震化を優先して進める国の方針により補助金が認められず、予定していた事業を延期し、減額するものです。当初予算策定時点でも耐震優先のうわさはありましたが、採択に向け努力しましたが大変残念な結果となりました。

### 本会議における質疑など

議員からは財政も大事ですが、子どもの育成を優先するというところで3月議会において予算を認めたので、補助金相当額を42億円程度ある基金から取り崩しても実施する事はできないのか、また幼稚園の空調設備など一部の事業を実施するという考え方についての質疑がありました。これに対して、執行部からは1億円近い補助金を市の費用に置き換えて実施するよりも1年間我慢して頂く事をお願い致しますとの答弁がありました。

### 総務文教常任委員会の審査のなかみ

この補正予算について審査の付託を受けた総務文教常任委員会では、減額した事業について補助がなくても市の一般財源だけで進めると言う気持ちがあったのかどうか、との質疑が有り、執行部からは計画した事業は補助金を利用して推進していくのが基本的な考えで、補助金がなくとも事業を行うとの考えは、

### 減額補正予算を可決

議会最終日の各議案採決の際にも減額された補正予算に対して討議がりましたが、採決の結果、賛成多数で原案通り大幅な予算減額となる一般会計補正予算(第2号)は可決されました。



その時点ではありませんでしたとの答弁がありました。他に小学校の自校式給食施設設置が遅れることになるが来年度は補助金が出なくても、最低1校は建設するのですか、との質疑があり、執行部からは来年度は2校推進で予算要求を行い、手を尽くして取り組みます、との答弁がありました。